

## 巻頭言

## スポーツウエルネス学部紀要の創設と研究環境の整備

スポーツウエルネス学部 学部長  
スポーツウエルネス研究科 研究科長

沼澤 秀雄

立教学院は2024年に150周年を迎えることになりました。本学はキリスト教に基づく人間教育を建学の精神としてリベラルアーツ教育を今日まで大切にしてきました。学部の名称にある「ウエルネス」という考え方はキリスト教と関係が深い国際YMCAの活動が発祥です。我々は、このハルバート・ダンが提唱する「よりよく生きる」というウエルネスの考え方をベースにして学内にウエルネス研究所を設立して立教学院一貫連携教育を視野に入れながら研究活動や講演会などを実施してきました。この動きが契機となって2008年にスポーツウエルネス学部の前身であるコミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科が学部で3つ目の学科として設置されました。そして何度かの難しい状況を乗り越えてスポーツウエルネス学部開設が150周年事業の重要事業と位置付けられ、立教学院全体の協力、支援のもとで2022年8月に文部科学省より認可され、翌年の2023年4月に本学部が設置されました。このような記念すべき年に、スポーツウエルネス学部紀要を発刊することができましたことを学内外の関係者の皆様、そして全ての学部教職員と共に喜びたいと思います。

学部紀要は学部所属教員の論文と研究活動を公開していくことによって、学部の存在意義を社会に示す方法の一つであると考えられます。論文発表の場としては査読等の関係から高いレベルの論文であるという評価が得られないので投稿を敬遠する傾向があるもの事実です。しかし、研究者養成の視点で考えれば、研究者を育てるという教育的な意味があるのではないかと考えます。発信の手法がWEBであれ、紙媒体であれ、目的は学部の情報を社会に知らしめることで、学部と研究科の教育研究活動の営みが紀要を発刊することで理解してもらえということが重要なのだらうと思います。

立教大学の「普遍的なる真理を探求し、私たちの世界、社会、隣人のために」という理念とコミュニティ福祉学部の理念である「いのちの尊厳のために」を踏まえて、学部は「すべての人の生きる喜びのために」という理念を据えました。この理念を体現するために真理を探求する研究活動を進めていかなければなりません。そしてその成果を社会に還元してすべての人のウエルネス向上とウエルネス社会の構築に寄与できるように努力していきたいと考えています。

今年の秋にはスポーツウエルネス学部の研究室、実験室を含む新棟が完成する予定になっています。そこに備えられる様々な測定機器やトレーニング機器は研究活動環境を充実させてくれま

す。また、ウエルネス研究所を発展的に統合したスポーツウエルネス研究所を学部附置の研究所として設置検討中です。さらに現在の新座体育館の2階にある学生ラウンジの一部がアジアサッカー連盟が認定しているメディカル&コンディショニング・センターとしてトレーナーの活動拠点と研究拠点として認可予定となっています。充実した研究環境のなかで多くの知見が見出されることを願っています。

最後にこのスポーツウエルネス学部紀要第一号の発刊にご尽力いただいた全ての方々に心より感謝申し上げます。